

令和6年度
戸田市立笹目東小学校
学校経営方針及び重点



「子供が育ち、教職員が育つ学校」
～にこにこ、きびきび、わくわく(NKW)～

令和6年4月1日

戸田市立笹目東小学校

戸田市立笹目東小学校学校経営方針【令和6年度 ダイジェスト版】

【学校経営方針】

「子供が育ち、教職員が育つ学校」～にこにこ、きびきび、わくわく（NKW）～

① 学校経営信条

- (1) すべての児童を全教職員（チーム笹目東）で指導
 - ・児童一人ひとりに寄り添い、チームで、保護者を巻き込んで組織的に支援する。
- (2) 令和の日本型学校教育の推進
 - ・子供たちが大人となる未来社会に向け「生きて働く力」を育成
 - ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、自由適度学習に取り組む
 - ・AIを活用した新たな学びの推進（「どう使うのか」の段階）
 - ・ドリルやプリントからタブレットを活用した学習へ
 - ・対面とオンラインの「ハイブリッド化」による指導の充実と活用
- (3) 特別支援教育の充実と就学相談（教育相談）体制の整備
 - ・教育相談を異就学、不登校、生徒指導等の課題別に組織的に活用し保護者とともに解決していく。ばれっとルームの活用。
- (4) 業務改善による質の高い教育と幸せづくり
 - ・「子供の元氣は教職員がつくっていく」「子供が元氣だから教職員も元氣になる」「ウェルビーイングの実現」（教職員一人一人が改善者）
 - 対話を通じて、日々の業務改善を進める。

④ 令和の日本型学校の教師の姿（目指す教師像）

- (1) 学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止める教師
- (2) 自律的に研修に励み、継続的に新しい知識・技能を学び続けられる教師
- (3) ICTをマストアイテム化し、子供一人一人の学びを最大限に引き出せる教師
- (4) 子供の主体的な学びを支援し、伴奏者として指導する教師
- (5) あいさつと笑顔あふれる教師
 - ・率先垂範、接遇
- (6) 保護者や地域に信頼される教師
 - ・教職員不祥事絶無、全体の奉仕者、高い倫理観

② 目指す学校像

- (1) 多様性を認め、包摂性のある学校
 - ・全ての人が安心して自己を表現でき、創造性や革新的な発想を推進し、組織全体の成長につなげる。
 - (2) 夢をもたせ学力の伸長に努める学校
 - ・アクティブ・ラーニング、見方・考え方を視座に授業改善や業務改善「イノベーション会議」の充実
 - (3) 児童が仲間と協力したり、楽しみながら体力の向上を図り、健康・安全に努める学校
 - (4) 非認知スキルを含む豊かな人間性の育成を推進する学校
 - (5) 「教職員を育てる学校」から「教職員が育つ学校」へ（広く学校を開き、取材や視察を受け入れ、プロとしての自覚をもった教職員）
 - (6) 潤いある環境づくりに努める学校
 - (7) あいさつと笑顔があふれる学校
 - (8) 地域とともにある学校
- ・対話に基づく学校運営協議会の運営

⑤ 学力の定着と向上

- (1) 魅力ある授業づくり
 - ・タブレットの文房具化による授業改革
 - ・本当の対話は、最上位目標に向かってこそ生まれる。
 - ・「問い」→「対話」→「納得解」→「新たな問い」へ（好循環に）
- (2) 学習環境の整備
 - ・ユニバーサルデザイン化
 - プロジェクターと電子黒板を使って「すっきり」「はっきり」「みえる化」
 - ・インクルーシブ教育の推進
- (3) 1年生担任による火6の取り出し個別指導
- (4) 家庭学習の充実
- ・宿題の在り方についての熟慮
- (5) 少人数指導教員による個別指導
- ・個別指導、少人数指導による個人差への対応

③ 目指す児童像（非認知スキルの育成）

- 笹っ子10の約束「にこにこ きびきび わくわく」NKW
- (1) にこにこ元気にあいさつします（協調性）
 - ・あいさつは「あかるく、いつも、先に、つづける」
 - (2) はっきりと返事をします
 - (3) 整理整頓、後始末をしっかりとします
 - (4) 時間を守り、きびきびとした行動をします（自制心）
 - (5) そうじは、しゃべらずにもくもくします
 - (6) 授業中はしせいをよくします
 - (7) くつはきちんとそろえます
 - (8) ろう下や階段は静かに歩きます
 - (9) 先生の話には集中します
 - (10) 何事にも意欲的にわくわく取り組みます（やり抜く力）
- そして、やるべきこととやっちゃいけないことをよく考えて、やりたいことを実現しよう

⑥ 生徒指導の充実

- (1) 生徒指導の要は日々の魅力ある授業づくり
- (2) 笹っ子10の約束の徹底
 - ・生徒指導から一人ひとりに寄り添う支援へ
 - ・ふれあいの上手な教師に。
- (3) いじめの根絶
 - ・いじめ防止対策推進法の理解
 - 「被害者側の心理を重視」
 - ・「疑問」の段階からの迅速な対応
 - ・迅速に解決する習慣と相談体制づくり
- (4) 不登校支援・ばれっとルームの効果的活用
- (5) 学校朝会等を活用した全体指導と
いじめアンケートの実施
- (6) 「笹っ子COCOLOプラン」に基づく、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策
～友達がいる。給食がおいしい。授業がたのしい。先生がやさしい。を合言葉に！



戸田市立笹目東小学校令和6年度学校経営方針

◇戸田市の教育振興に関する大綱

『共に「つくり まもり つなぐ」教育のまち 戸田』(3つの柱・6つの重点目標)

◇戸田市教育振興基本計画

【基本理念】生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田

【キャッチフレーズ】～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～

1 学校の教育目標

(1) 深く考え、行動する子ども

◇自ら課題を見だし、深く考え、仲間と共に学びを生活に生かす。

(2) 進んで働く子ども

◇目標に向かい、自分役割を自覚し、進んで仲間のために働き、責任をはたす。

(3) 健康でたくましい子ども

◇心身ともに健康で、根気強く課題に取り組むことのできる気力・体力を培う。

(4) 思いやりのある子ども

◇様々なコミュニケーションの手段を効果的に活用し、相手の気持ちを理解して協力し、助け合う。

◇子供たちが大人となる10年後、20年後の未来社会で、子供たち一人一人が自分らしく、自分の力を十分発揮し活躍できるよう、実社会で生きて働く力を育成する。

2 学校経営方針

「子供が育ち、教職員が育つ学校」～にこにこ、きびきび、わくわく（NKW）～

(1) 児童にとって通いたくなる学校づくり 「笑顔」

(2) 保護者・地域の方が協力したくなる学校づくり 「信頼」

(3) 教職員が働きがいのある学校づくり 「誇り」

3 学校経営信条

(1) すべての児童を全教職員（チーム笹目東）で指導

児童一人一人に寄り添い、**チーム笹目東として、複数の目で、組織的に支援する。**

問題や課題が複雑化、困難化するなかで、担任一人だけで解決できることは少なくなっている。指導すべきことを共有し、**保護者を巻き込んで、全教職員で指導する。**

(2) 令和の日本型学校教育の推進

子供たちが大人となって活躍する10年後、20年後を見据え「新しい時代に必要とされる資質・能力」を身に付けさせる。資質・能力の育成のため「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ「自由進度学習」に取り組み、**P（プロアクティブ・Proactive）D（ダイアロジック・Dialogic）A（オーセンティック Authentic）**「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげ、**AIを活用し、対面とオンラインの双方を使いこなす「ハイブリッド化」により指導の充実と効果的な活用を図る。**

(3) 特別支援教育の充実と就学・教育相談体制の整備

児童や保護者に PBS の視点で接し、児童一人一人のよさを認めることで、自己肯定感や自己効力感を育むとともに、教育相談を異就学、不登校、生徒指導等の課題別に組織的に活用し、保護者とともに解決していく。

(4) 業務改善による質の高い教育と幸せづくり

教育の質をあげ、子供のやる気を引き出し「子供の元気は教職員が作っていく。子供が元気だから教職員も元気になる。」を実践する。

業務改善を人任せにせず、**対話を通じて日々業務改善を進める**ことで、笹目東小学校にかかわる全て人の幸せづくりにつなげる。

4 目指す学校像 **子供が育ち、教職員も育つ学校**

学校の教育目標、学校経営方針及び学校経営信条をもとに、以下の学校像を教職員が一丸となり、着実に確かな実践をしていく中で、**子供はもともと有能な学び手であるということ共通理解し、我々教職員も常に学び続け、成長しつづけることで、子供のやる気を引き出し、自己肯定感を高める指導を実践する。**

(1) 「多様性を認め、包摂性のある学校」

人種、性別、年齢、宗教、障害など、様々な個人の違いを認め、尊重するとともに、多様性を認めあう環境作りにつとめる。そして、本校、児童と教職員が個性を発揮し、公平に活躍できる環境を整備し、すべての人が安心して自己を表現でき、創造性や革新的な発想を促進し、組織全体の成長につなげる。安心して児童が学べる温かい学級を基本とし、個別最適な学びと協働的な学びを充実させ、自由進度学習に取り組み、真に児童に「実社会で生きて働く力」を育成する。

①組織を生かした学校の教育目標の具現化

②教職員の意識改革（教科横断的な力の育成・新しい時代に必要とされる「生きて働く力」資質・能力の育成）

③わくわくする教育活動の実践（教科等の特質に応じた見方・考え方を踏まえた教科指導、PBL 型授業、体験的学習、地域の人・もの・ことの活用）

(2) 夢をもたせ、学力の伸長に努める学校

将来に夢と希望をもたせ「実社会で生きて働く力」（資質・能力）を育成する。「勉強の中身がわからない・勉強の仕方がわからない・なぜ勉強するのがわからない」の児童の問いに正対して答え、学びへの動機付けを図り、**主体的・対話的で深い学び**となる授業により、学力の伸長に努める。

①夢と希望をもたせる学習活動の創造

②「実社会で生きて働く力」（資質・能力）を育成する授業の実践

③タブレットの活用で個別最適な学びと協働的な学びを推進

④主体的・対話的で深い学びの実現

⑤教科等の特質に応じた見方・考え方をよりどころにした授業の実践

→教材の特徴、単元のねらい、一年間の見通し、六年間の見通し

(3) 体力向上と健康・安全に努める学校

健康でたくましい体を持ち、苦しさを乗り越えることができる気力と**仲間と協力したり、楽しみながら体力を養うために**、体育、健康及び安全指導の充実に努める。また、規則正しい食生活など、家庭との連携を強化し心身の調和の取れた発達を図る。

- ①健康でたくましい体
- ②防災教育の充実（自助・共助・公助の精神）
- ③学校給食等を活用した食育の推進

（４）非認知スキルを含む豊かな人間性の育成を推進する学校

やり抜く力、協調性、自制心、勤勉性などの非認知スキルや柔らかな感性、正義感や公正さ、生命を大切にし、人権を尊重する心、思いやりの心、やさしさなどの豊かな人間性の育成に向けて、道德教育を充実させる。

- ①笹っ子１０の約束の推進と道德教育の充実
- ②新たな授業規律の確立（非同期型の学習規律「話を聞きましょう。手はお膝。ではない。」思考の中味に焦点をあてる。）
- ③読書活動、体験活動、実践活動の推進
- ④積極的な生徒指導、教育相談の充実

（５）「教職員を育てる学校」から「教職員が育つ学校」へ

広く学校を開き、取材や視察を受け入れ、教師一人一人がプロとしての自覚と明確な目標をもち、自らそして互いに日々の職務や研修を通して、教師としての力量を一層向上させ、誠実さとやる気あふれる、質の高い教職員集団づくりに努め、保護者の信託に応える。

- ①プロフェッショナルの自覚
- ②誠実さとやる気あふれる学び合う教職員集団
- ③研修を通して「個別最適な学び」、「協働的な学び」、「PBL」を意識した授業への改善（「実社会で生きて働く力」の育成を図る）

（６）潤いのある環境づくりに努める学校

「環境は人をつくる」と言われる。環境の果たす教育的役割について探求し、季節の変化に応じた心に響く学校・学級環境整備や、心を磨く清掃活動などに、児童と教師が一体となって努める。

- ①安全・安心な学校学級環境整備
- ②心を磨く清掃活動（もくもく清掃）
- ③緑豊かな学校（フルーツロード等）

（７）あいさつと笑顔があふれる学校「あいさつは、明るく、いつも、先に、続ける」

教師自ら、心のこもった元気なあいさつと明るくやさしい笑顔を体現することで、児童全員をできるようにし、学校全体にあいさつと笑顔があふれるようにする。

- ①心のこもった元気な挨拶「挨拶は、明るく、いつも、先に、続ける」
- ②明るくやさしい笑顔
- ③思いやりのある声かけ

（８）地域とともにある学校

子供は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、地域の教えで実が成る。学校の教育活動は保護者や地域との連携・協働によって効果をあげることができる。コミュニティ・スクールを推進することにより、保護者・地域住民との対話を通じて、地域の教育資源（人・もの・こと）を生かした地域とともにある学校を目指す。

- ① 学校運営協議会での最上位目標向かうための対話のスタイルの定着
- ② 説明責任・広聴機能（学校評価等）と情報発信（たより、HP,facebook）の充実

③ 積極的に視察、取材等の受け入れ

④ 地域学習（人材活用と学びの場の活用）と学校公開日・授業参観懇談会等（**笹っ子応援団**や親子協働学習、グループエンカウンターを活用した懇談会等）の充実

5 目指す児童像

「にこにこ・きびきび・わくわく」＜児童の行動目標「笹っ子10の約束」が実現された姿＞

- （1）にこにこ元気にあいさつする子（協調性）
- （2）はっきりと返事をする子
- （3）整理整頓・後しまつをしっかりする子
- （4）時間を守り、きびきびとした行動をする子（自制心）
- （5）そうじは、しゃべらずもくもくとする子
- （6）授業中、姿勢をよくする子
- （7）くつをきちんとそろえられる子
- （8）ろう下や階段を静かに歩ける子
- （9）先生の話には集中できる子
- （10）何事にも意欲的にわくわく取り組む子（やり抜く力）

そして、やるべきことややってはいけないことを考えて、やりたいことを実現する子

6 令和の日本型学校の教師の姿（目指す教師像）

- （1）学校を取り巻く環境の変化を前向きに受け止められる教師
- （2）自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続けられる教師
- （3）ICTをマストアイテム化し、子供一人一人の学びを最大限に引き出せる教師
- （4）子供の主体的な学びを支援する伴奏者としての能力も備えている教師
- （5）あいさつと笑顔あふれる教師
- （6）保護者や地域に信頼される教師
 - ・ 児童、保護者、地域を大切にできる教師
 - ・ 地方公務員として、全体の奉仕者としての自覚をもった教師（教職員事故の絶無を期す）
 - ・ 保護者や地域の声に耳を傾け、誠意ある対応のできる教師

学校経営の重点 —「子供が育ち、教職員が育つ学校」づくりを目指して—

I 指導観の転換 ほめて伸ばすを指導の基本に

- ・あるべき姿と現実のギャップを埋めるのが教育です。具体的な方法を教え、伸ばしましょう。「欠点指摘は誰でもできる、我々は教育のプロである」PBSの視点で、足りない点を指摘するより、よさを見つけ伸ばす、伸びた部分をほめ本人のやる気に火を着けましょう。ほめることで本人の主体性を育てましょう。

・主体的・対話的で深い学びをさせる 子供が主人公の授業を！

II 組織力の向上 チーム笹目東、対話を重視し、三人寄れば文殊の知恵で

- ・一人の力より、複数の力。多様性を生かし、対話による問題解決を。正解ではなく納得解をもとめよう。
- ・会議は生産的に。最上位目標を共有し、多様な発想を生かす場に。資料の事前確認全員で協議する内容のみを。PDCAサイクルで、即次年度の計画に。
- ・互いに学び合いながら豊かな発想力を。一人では乗り越えられない壁の突破を。
- ・「見過ごすな、見落とすな、見て見ぬふりをするな」共通行動で

III ワーク・ライフバランス 仕事と人生の両立で豊かな人生を築いていこう

- ・勤務時間に仕事を終わらせ、育児、家族とのふれあい、趣味、自己研修によって人生を豊かに。学ぶ時間を作り、インプットを多くしアウトプットできるように
- ・困った時はお互い様。互いがフォローできるよう、声を掛け合って！
- ・業務改善の推進。自分たちができることを進めていく。

■本年度のテーマ

実社会で生きて働く力(コンピテンシー)の育成

～個別最適な学びと協働的な学びの充実～

1 新しい時代に必要とされる資質・能力を確実に身に付けさせる

(1) 主体的・対話的で深い学びを実現する PBL 型等の授業づくり

- ①学習指導要領が求める資質・能力を明確にした授業づくり(社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性)
- ②簡潔・明瞭な説明・指示・発問と意味をとらえさせてからの活動指示
- ③「わかる授業、できる授業、運動量・学習量が確保された出番のある授業」の実践
- ④「自由進度学習」に取組み、習熟度別学習等少人数指導の充実(算数科等)
- ⑤ICT 機器を活用した一斉学習・個別最適な学習・協働的な学習の充実(ロイロノートで提出、AIドリル)
- ⑥適切な量と質の家庭での学習を児童に投げかけ、保護者との協力のもと、教室での学習を充実させるために家庭学習(反転学習)を。
- ⑦1年生担任による金曜日6時間目の抜き出し個別指導

(2) 計画どおり授業を確実に実施

- ①学年だより・連絡帳により、児童・保護者へ学習予定の提示(学習準備)
- ②授業準備をしてから次の行動(学習準備が学習意欲の向上につながる)
- ③管理職の見届けと授業時数調査等による教育課程の適切な管理(計画、時間割、時数と内容)

2 生徒指導の充実

(1) 笹っ子10の約束の徹底

非認知スキルであり生活規律や学習意欲の向上と直結する内容である「笹っ子10の約束」を、保護者、地域社会との連携を図りながら、どんな些細なことでも曖昧にせず、全教職員で繰り返し徹底して指導する。また、授業規律の確保には全教職員が同一歩調で取り組む。

- 1 **にこにこ**元気にあいさつします
- 2 はっきりと返事をします
- 3 整理整頓・後しまつをしっかりとします
- 4 時間を守り、**きびきび**とした行動をします
- 5 そうじは、しゃべらずもくもくとします
- 6 授業中はしせいをよくします
- 7 くつはきちんとそろえます
- 8 ろう下や階段は静かに歩きます
- 9 先生の話には集中します
- 10 何事にも意欲的に**わくわく**取り組みます

そして、やるべきことややってはいけないことを考えて、やりたいことを実現する子

(2) いじめの根絶と不登校の解消

- ①いじめ防止基本方針に基づく教育活動の展開（未然防止・早期発見・対応・解決）
- ② いじめ認知報告の確実な実施（記憶より記録、いじめと感じた子供の立場で）
- ③ いじめ問題等対策委員会・校内委員会・学校教育相談体制の充実
- ④ 毎月のいじめアンケートの実施とその対策の迅速な実施
- ⑤ 道徳教育の充実による豊かな心の育成（道徳科による考え、議論する道徳）
- ⑥「笹っ子 **COCOLO** プラン」に基づく、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策の推進
～友達がいる。給食がおいしい。授業がたのしい。先生がやさしい。～
4つの「子どもの実感」を合い言葉に！

(3) 家庭・地域社会との連携

- ①戸田市 P 連家庭教育宣言との連携
- ②笹目中学校・幼稚園・保育園との連携・協働
- ③コミュニティ・スクール・民生児童委員連絡協議会・学校応援団・プリムローズ・コンパルとの連携・協働
- ④地域で学び地域を学ぶ地域学習の充実

(4) 特別活動の充実による望ましい集団の育成

- ①安心して生活できる支持的風土のある学級（学級経営の充実）
- ②児童会活動等の活性化（委員会活動、クラブ活動、児童集会等）
- ③学校行事等（音楽朝会含む）の厳選・重点化と充実
- ④ボランティア教育・福祉教育の推進（ボランティア活動の実践）

3 人権教育、特別支援教育の充実

(1) カラフル教育の推進

- ①多様性を尊重し、柔軟な対応により一人一人を大切にした教育の推進
- ②人権感覚育成プログラムを活用した人権教育の充実
- ③いじめ防止基本方針に基づく教育活動の展開
- ④障害に対する正しい理解を深め、自立を援助する教育活動の推進

(2) さくらんぼ学級（特別支援学級）と交流学習（交流及び共同学習）の充実

- ①一人一人の障害の状態等に対する教育的ニーズに対応してきめ細かな指導
- ②特別支援学級への理解を進める啓発活動（児童、保護者、地域社会）

③さくらんぼ学級も通常学級も互いに尊重しあえる交流学习

(3) 特別支援教育の視点に立った授業の推進（授業のユニバーサルデザイン化）

①「すっきり」「はっきり」「みえる化」「つながり」「学び合い」のある授業

②適切な集団への指示と適切な個別対応の充実（ICT活用）

③発問・説明・指示の簡潔化と教室環境の整備（前面すっきり、整理整頓）

(4) 就学相談、就学支援体制の充実

①特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育・就学相談体制の充実

②配慮を要する児童の把握と共通理解及び早期からの保護者との教育相談、就学相談

③未来を担う、とだっ子が誰一人取り残されないための新たな居場所であるぱれっとルームの活用

4 潤いのある環境づくり

(1) 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の推進

①もくもく清掃（重点）と躰（自分で決めたことを守るように支援）

②整理・整頓・清潔（教室内外、備品管理、職員室机周り等のキレイな状態を維持）

(2) 掲示教育の推進

①掲示責任者の明示と変化の有る掲示物（言語環境、芸術環境）

②児童が工夫し活用できる掲示場所の確保

(3) 緑豊かな環境の維持・保全

①学校水田・学校農園・フルーツロードで食育推進

②年間を通じて花と緑のある環境の維持・保全

③環境ISOの実施

5 児童事故の防止

(1) 交通事故等の防止

①交通安全指導の徹底（交通事故の絶無を期す）と通学路点検の実施

②校内歩行・教室等における安全指導の徹底（きまりを守る）

③家庭・地域社会との連携による放課後等の遊びの指導の徹底

(2) 定期的な安全点検と修繕の実施

①全教職員による安全点検と事後修繕の実施

②各担当による定期巡回と危険箇所の改善

③笹っ子応援団や保護者ボランティアとの共同点検

6 教職員の資質向上と外部連携・協働

(1) 働き方改革へのマインドセット

①授業力と生徒指導力の向上を意識するとともに、チームで役割分担・協働し、効率よく教育活動を展開

②業務改善委員会を設置し、働き方改革を推進（ボトムアップ）

③教育公務員としての倫理観を高め教職員事故の絶無を期す倫理確立委員会の充実

④ふれあいデー・定時退勤日のインプットの充実

(2) 組織力の活性化

①学年組織の活性化（学年や低・中・高・本部でのまとまり。専科教員との連携等）と「報告・連絡・相談」の徹底

②企画委員会で児童・教員の状況報告

③若手教員（1年目～5年目）による指導技術等の伝承と学び合い

(3) 職員室のICT化と会議の精選

①電子会議・電子管理で、校務能率UPし、児童とのふれ合う時間を生み出す

②資料の事前確認、協議事項の明確化、会議の目的の共有、行事終了時即翌年度計画立案により時間を生み出し負担感の軽減を図る

(4) コミュニティ・スクールの推進と外部組織との連携・協働

- ①学校運営協議会（CS）を活用した地域社会・保護者と連携した教育活動の展開
- ②PTA 活動、笹っ子応援団、子ども会活動、地域の団体等との連携・協働
- ③民間・大学・NPO 等の教育資源を積極的に活用